



エコアクション21[®]
認証番号 0007540

松岡カッター製作所 環境経営レポート

Environmental Management Report

2025

環境経営レポートの対象期間
2023年10月1日～2024年9月30日

環境経営レポート作成日
2025年1月1日



目次 Contents

組織の概要	p.3	トップメッセージ
	p.4	会社概要・経営理念・品質方針
環境経営方針	p.5	環境基本理念・行動理念
実施体制	p.6	経営の推進体制及び権限と役割
環境目標と環境経営計画	p.7	中長期の環境目標
	p.8	環境経営計画の実施・取組結果
	p.9	環境経営計画の取組み結果とその評価
次年度の目標と計画	p.10	次年度の環境経営目標
	p.11	次年度の環境経営計画
	p.12	実施した取組内容及び結果の総合評価
当社の取り組み	p.13	当社の取り組み
環境関連法規	p.16	環境関連法規等遵守状況の確認及び評価結果、違反、訴訟等の有無
代表者による評価	p.17	代表者による全体評価と見直しの結果

編集方針 Editorial policy

発行にあたって

本レポートは松岡カッター製作所の環境、社会に関する活動を広く知っていただくために発行するものです。

編集方針

「2025 環境経営レポート」は、環境と社会面から松岡カッター製作所の現況を報告する年次レポートです。社会的責任を果たすため、当社の環境保全活動および文化交流などの社会貢献活動の現況と成果を、より具体的かつ正確にご報告し、さまざまなステークホルダーの方々とのコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。

基本項目

- 対象期間:2023年10月1日～2024年9月30日
- 対象組織:松岡カッター製作所 本社
- 対象活動:機械金属加工業(切削工具の製造)

将来見通しについてのご注意

本レポートに記載している当社の計画、戦略、業績予想など、将来見通しに関する内容は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、潜在的リスクや不確実性が含まれています。そのため、経済情勢の変化、市場の動向、関連法規の改正など、さまざまな要因の変化により、実際の業績・事業環境などが、本レポートの記述とは異なる可能性があることをご承知おきください。

株式会社松岡カッター製作所
代表取締役社長

松岡 慶子



Top Message

トップメッセージ

私たちの考える「環境経営」とは

近年、カーボンニュートラル等企業責任による環境保全の動きが活発となり、弊社にも多方面から製品ならびに製造工程におけるCO₂排出量、環境負荷物質が入っていないかなど問い合わせが多くなっております。当社では10年以上のエコアクション活動において、新規使用の材料の環境負荷状況、設備購入におけるCO₂排出量など全社的に確認する習慣が確立され、ほぼご要望の書類など提出できている状況であるとともに、地球環境に配慮する製品作りを実施しております。

与えられた資源を有効に使いながら、ムダのない製造をすることにより、環境を保護すると共に、コストの削減につながる工夫をこれからも真摯に取り組んでまいります。

Company Profile

会社概要



会社名	株式会社松岡カッター製作所
代表者	松岡 克彦 松岡 慶子
本社所在地	静岡県静岡市葵区古庄2丁目18番46号
設立	1957年11月1日設立
環境管理責任者	岩永 香里
事業内容	機械金属加工業（切削工具の製造）
事業規模	資本金: 10,000,000円 従業員数: 64名（2025年1月現在）
事業年度	2023年10月から2024年9月

Management Philosophy

経営理念

「 切削工具のパイオニア 」

基本と原則に忠実に、ものづくりとサービスを実践することで、
顧客と社会の「今」と「未来」を創り、
一人ひとりの社員とその家族の幸福を実現し、維持発展させる。

Quality Policy

品質方針

- 品質の向上に常に取り組む。そのために工程の改善、人材の育成を日々進め、安定した品質と最適なコストを達成するよう努める。
- 不良品の流出を食い止める。そのために出荷検査体制を強化する。
- 全ての部署で業務効率を向上させる。
そのために常に業務全般の見直しを繰り返す。
- 納期最優先。どんなに優れた製品も間に合わなければ、すべてただの無用の長物となる。
- この品質方針を全従業員に周知するとともに、ホームページにて公開し、関係するすべての方々の理解と協力を得られるように努める。

Environmental Basic Philosophy

環境基本理念

当社は、地球環境の保全が、
人類共通の課題であることを認識し、
事業活動の面で環境保全に配慮し、行動します。

Behavioral Guidelines

行動指針

1. 省エネルギー、省資源化の推進により、
二酸化炭素の排出量、水利用の削減に努めます。
2. リデュース（削減）、リユース（再利用）、
リサイクル（ごみの再利用）の実践により、廃棄物を抑制します。
3. 希少金属の再利用を目指し、環境に配慮した製品づくりを推進します。
4. 全社員に環境の教育を行い、環境保全の意識を高めます。
5. 環境関連法令を遵守します。
6. 環境経営の継続的な改善を行います。

この環境方針ならびに取り組みは、当社で働くすべてに周知すると共に、社外の求めに応じ公開します。

制定：2009年6月11日

改訂：2020年6月9日（5回目）

株式会社松岡カッター製作所

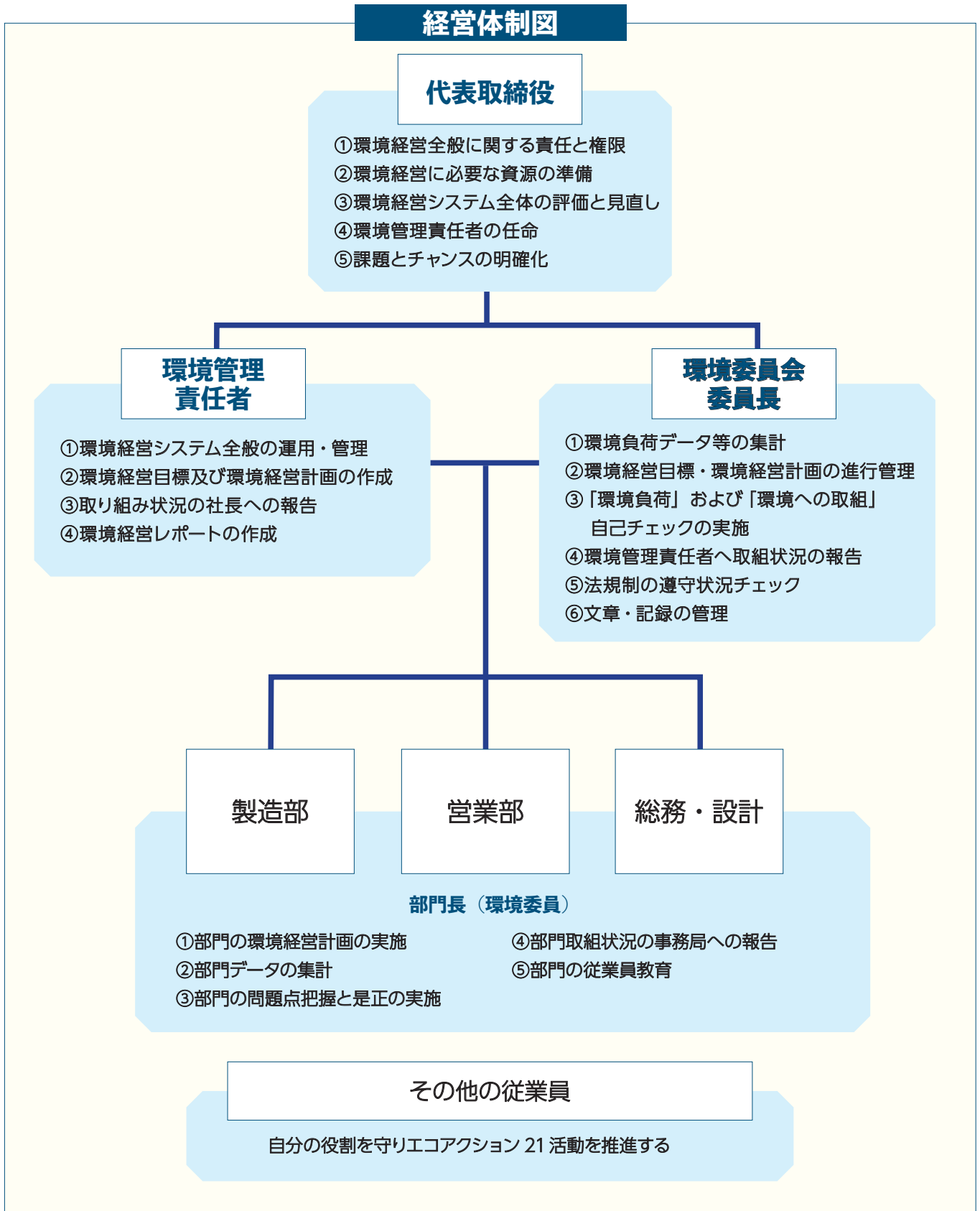
代表取締役

松岡 克彦

経営の推進体制 及び 権限と役割

Management Promotion System and Authority and Role

当社は、環境基本方針に則り、行動指針の具現化および実践に関する基本的事項を定め、下記の組織を設置し、実現に努めています。



中長期の環境目標

Medium- to long-term Environmental Goals

前述の組織において、当社における中長期の環境目標を設置。
第 67 期を基準とし、3 年間の中期予定結果は以下の通りです。

			単位	第 67 期	第 72 期	第 73 期	第 74 期
				2018.10.1 ~ 2019.9.30	2023.10.1 ~ 2024.9.30	2024.10.1 ~ 2025.9.30	2025.10.1 ~ 2026.9.30
				基準	予定実績	予定実績	予定実績
地球温暖化防止	CO2 排出量	CO2 総排出量の削減	kg-CO2	382,923	354,204 92.5%	344,631 90%	340,802 89%
	電力の CO2 排出量削減	1. 工場設備の見直し。 設備増設・更新で 排出量を 増加させない工夫をする。	kg-CO2	338,129	284,729 92.5%	304,316 90%	300,935 89%
	ガソリンの CO2 排出量削減	1. 車両更新の際、ガソリン使用量が 少ない車を選択する	kg-CO2	41,375	33,118 92.5%	37,237 90%	36,823 89%
省資源・リサイクルの推進	廃棄物の削減	一般廃棄物	総排出量 t	2	1,999 99.95%	1,999 99.925%	1,998 99.9%
		産業廃棄物	総排出量 t	50	42,500 85%	40,000 80%	37,500 75%
	リサイクルの推進	1. 分別を徹底し産業廃棄物の 再利用を増やす 2. 段ボール・廃棄用紙の 緩衝材リサイクル	再資源化量/ 産業廃棄物 排出量 % 緩衝材 利用率 %	64% 91%	70%以上 90%以上	80%以上 90%以上	85%以上 90%以上
環境マネジメント	環境事故のゼロ化	1. 油・液体の社外への漏えい、 流出の防止	件	1	0	0	0
	環境教育	1. 対応訓練の実施	回	1	1	1	1
節水	水使用量の削減	1. 水の使用状況の確認	m ³	1,285	1100	1000	900
環境配慮の製品	環境対応製品	1. 製品開発準備のための調査	件	0	1	1	1
		2. 社内改善・改良提案を促進する	%	10%	17%	19%	20%
防止の推進 環境汚染	環境負荷物質の監視	社内に環境負荷物質を入れない	物質変更時	混入無し	混入なし	混入なし	混入なし

※基準年度(第 67 期)の電力排出係数は中部電力(2018 年) 0.457 kg-CO2-kWh を使用

環境経営目標の実施・取組結果

Implementation results of environmental management plan

実施した結果の内容、その評価は下記の通りとなりました。

(実施期間：2023年10月1日から2024年9月30日)

環境目標に対しての評価・結果

			単位	第 67 期	第 71 期	第 72 期				
				2018.10.1 ~ 2019.9.30	2022.10.1 ~ 2023.9.30	2023.10.1 ~ 2024.9.30				
				基準年 実績値	実績値	目標	目標値	実績値	実績削減率	評価
地球温暖化防止	C02 排出量	C02 総排出量の削減	kg-C02	382,923	313,642	92.5%	354,204	315,681	82%	○
	電力の C02 排出量削減	1.工場設備の見直し。 設備増設・更新で排出量を増加させない工夫をする。	kg-C02	338,129	276,005	92.5%	284,729	275,057	81%	○
	ガソリンの C02 排出量削減	1.車両更新の際、ガソリン使用量が少ない車を選択する	kg-C02	41,375	36,037	92.5%	33,118	39,002	94%	○
省資源・リサイクルの推進	廃棄物の削減	一般廃棄物	総排出量 t	2	2.97	99.95%	1.999	3.46	173%	×
		産業廃棄物	総排出量 t	50	26.70	85%	42,500	30.5	61%	○
	リサイクルの推進	1.分別を徹底し産業廃棄物の再利用を増やす	再資源化量/ 産業廃棄物 排出量%	64%	91%	70%以上		62.5%		×
		2.段ボール・廃棄用紙の緩衝材リサイクル	緩衝材 利用率%	91%	91%	70%以上		90.5%		○
環境マネジメント	環境事故のゼロ化	1.油・液体の社外への漏えい、流出の防止	件	1	0	0		0		○
	環境教育	1.対応訓練の実施	回	1	1	1		1		○
節水	水使用量の削減	1.水の使用状況の確認	mi	1,285	1,260	1100		1,055		○
環境配慮の製品	環境対応製品	1.製品開発準備のための調査	件	0	0	1		0		×
		2.社内改善・改良提案を促進する	%	10	19	17		34		○
防止の推進	環境汚染防止の推進	社内に環境負荷物質を入れない	物質変更時	混入無し	混入無し	混入無し		混入無し		○

※基準年度(第67期)の電力排出係数は中部電力(2018年)0.457 kg-CO2-kWhを使用

※71期の地球温暖化防止欄 Co2 排出量実績数値は取りまとめ表にて都市ガス項目が抜けていたので今レポートで修正しています。

環境経営計画の取組み結果とその評価

		担当者	評価	コメント	次年度の取組
二酸化炭素の削減	1. コンプレッサーの配管の見直し	環境責任者	×	配管見直しは予算的に計画的な実施も難しく引き続き事業環境とタイミングをみる。工場のLED化は設置完了し機械内部を残すのみとなった。空調の効きのバラツキと、今年は特に夏季の電気の使用量が著しかったので原因究明と対策をして空調の効きを全体的に良くし、使用量を抑えていきたい。	継続
	2. スポットクーラーの廃止	第一工場主任	○		
	3. 冷暖房の運転基準の遵守	全社	○		
	4. 電源のOFF		○		
	5. フィルターの清掃		○		
	6. 水銀灯・蛍光灯のLED化	環境責任者	○		
	7. タイヤの空気圧チェック	営業	×		
	8. 燃費の集計		×		
	9. 車両の点検と荷物の適正化		×		
廃棄物の削減	1. 廃棄物の分別の意識付け	環境委員会	△	分別に関しては問題があれば報告が上がるので周知は出来ているが、雑な捨て方が見受けられ、丁寧に分別することを社内で心掛けるように徹底したい。また廃棄物の量が増えたことも気になる。	継続
	2. 計画的な産業廃棄物の処理	各担当者	○		
	3. 不良品の計測	環境委員会	○		
	4. 廃棄物の集計		○		
	5. 廃棄物処理費の集計		○		
リサイクルの推進	1. コピー用紙のリサイクル率の集計	総務	○	習慣化ができています。顧客からのクレームもない。廃棄物のリサイクル率も上がっている。	継続
	2. 段ボールのリサイクル率の集計		○		
	3. リサイクル金属売却額の見える化		○		
作業環境改善による漏洩・流出の防止	1. 内部監査の実施	環境委員会	○	集中的に一か所の内部監査は効果的の実感ある一方で、物を一時期どけるだけとマンネリ化してしまっているところもあるので更なるブラッシュアップが必要。漏洩訓練は引き続き行い、最近の水害対策やBCPにも合わせて行なっていきたい。	継続
	2. 机の上、作業台、機械、作業場の清掃	全社	△		
	3. 台車、清掃道具、工具の定位置化		○		
	4. 機械の作業前、月次点検の徹底		○		
	5. 漏洩物の速やかな除去		○		
	6. 通路の確保（ものを置かない）		○		
水使用の削減	1. 使用量の見える化	総務	○	漏水の監視。長引くと大変になることが前期でわかったので速やかに対処する。	継続
環境教育	1. 目標・計画の周知徹底	環境委員会	○	全社員に対応すべきことが行き渡っています。	継続
	2. 緊急対応訓練の実施		○		
環境に配慮した製品作り	1. 他社の製品調査	営業	×	環境に対応した製品の情報収集及び、アイデアコンクールからの新製品案でエコに繋がるものを期待。	継続
	2. 音の静かな製品設計		×		
	3. 改善提案を出す。	全社	△		
化学物質	1. 新しく購入する場合 SDS を入手	各担当者	○	意識定着しています。	継続
	2. 環境負荷を起こす物質を使わない	全社	○		

中長期の最終環境経営目標

Environmental management goals for the next fiscal year

前述の組織において、当社における中長期の最終環境経営目標を設置。

第 67 期を基準とし、今後の目標を定めています。

(実施期間：2023 年 10 月 1 日から 2026 年 9 月 30 日)

中長期の最終環境経営目標

			単位	第 67 期	第 74 期
				2018.10.1 ~ 2019.9.30	2025.10.1 ~ 2026.9.30
				基準年	目標
地球温暖化防止	C02 排出量	C02 総排出量の削減	kg-C02	382,923	-11%
	電力の C02 排出量削減	1. 工場設備の見直し。 設備増設・更新で排出量を増加させない工夫をする。	kg-C02	338,129	-11%
	ガソリンの C02 排出量削減	1. 車両更新の際、ガソリン使用量が少ない車を選択する	kg-C02	41,375	-11%
省資源・リサイクルの推進	廃棄物の削減	一般廃棄物	総排出量 t	2	-0.1%
		産業廃棄物	総排出量 t	50	-25%
		1. 分別を徹底し産業廃棄物の再利用を増やす	再資源化量 / 産業廃棄物排出量%	64%	85%以上
		2. 段ボール・廃棄用紙の緩衝材リサイクル	緩衝材利用率%	91%	90%以上
環境マネジメント	環境事故のゼロ化	1. 油・液体の社外への漏えい、流出の防止	件	1	0
	環境教育	1. 対応訓練の実施	回	1	1
節水	水使用量の削減	1. 水の使用状況の確認	mi	1,285	900
環境配慮の製品	環境対応製品	1. 製品開発準備のための調査	件	0	1
		2. 社内改善提案中、20%環境改善提案を出す。	パーセント	10	20
防止の推進	環境汚染	環境負荷物質の監視 社内に環境負荷物質を入れない	物質変更時	混入無し	混入無し

※基準年度（第 67 期）の電力排出係数は中部電力（2018 年）0.457 kg-CO2-kWh を使用

次年度の環境経営計画

Environmental Management Plan for the next fiscal year

当社における中長期の環境経営計画。対象範囲である本社工場にて具体的に実施していく取り組みを定めたものです。

		スケジュール	担当者
二酸化炭素の削減	1. コンプレッサーの配管の見直し	第1、第2工場	環境責任者
	2. スポットクーラーの廃止	廃棄・譲渡	全社
	3. 冷暖房の運転基準の遵守	毎月確認	全社
	4. 電源の OFF	常時	
	5. フィルターの清掃	毎月 15 日	
	6. 蛍光灯の LED 化	機械設備	環境責任者
	7. ガソリン代の集計*	毎月	総務
廃棄物の削減	1. 廃棄物の分別の意識付け	毎月	環境委員会
	2. 計画的な産業廃棄物の処理	各部署での基準	各担当者
	3. 廃棄物の集計	その都度	環境委員会
	4. 廃棄物処理費の集計	その都度	
リサイクルの推進	1. 段ボールのリサイクル率の集計	毎月	各担当者
	2. リサイクル金属売却額の見える化	毎月	
作業環境改善による 漏洩・流出の防止	1. 内部監査の実施	年 2 回	環境委員会
	2. 机の上、作業台、機械、作業場の清掃	環境活動時間	全社
	3. 台車、清掃道具、工具の定位置化		
	4. 機械の作業前、月次点検の徹底		
	5. 漏洩物の速やかな除去		
	6. 通路の確保（ものを置かない）		
水使用の削減	1. 使用量の見える化	毎月	総務
環境教育	1. 目標・計画の周知徹底	毎月	環境委員会
	2. 緊急対応訓練の実施	年 1 回	
環境に配慮した 製品作り	1. 他社の製品調査（原材料・機械購入を含む）	展示会	営業
	2. 改善提案を出す	年 1 回	全社
化学物質	1. 新しく購入する場合 SDS を入手	その都度	全社
	2. 環境負荷を起こす物質を使わない	常時	各担当者
外部対応	1. 取引先、公共団体からの 環境アンケート等に積極的に協力する。	その都度	環境委員会

※補足点：前年に記載のあった「二酸化炭素の削減」項目内「7. タイヤの空気圧チェック、8. 燃費の集計、9. 車両の点検と荷物の適正化」に関しては、コロナ禍と輸送費の値上げに伴い、自社で製品の運搬を行うことも増えた為、現状にそぐわない又正確なデータが取れない理由から今年より計画からは削除。ガソリン代の集計は CO2 総排出量の計算の為に継続。

実施した取組内容及び結果の総合評価

Comprehensive evaluation of the contents and results of the implemented efforts



二酸化炭素排出量

使用しない部屋等の消灯など基本的な省エネ活動は定着。夏場の使用量の削減が課題。

一年を通してみると削減はできているが、夏季（6月、7月、9月）の使用量・電気代は値上げで高かった昨年よりも増えていた。夏場は空調の効きが良い悪いがはっきり出るので、悪い箇所に対応し、使用量の削減や効きのばらつきを統制したい。



節水

漏水の修理。早めの対策が必要。
節水は社員に呼びかけ、都度注意喚起。

様子見をしていた期間、水道代と使用量が約4倍に膨れ上がった。修理対応し、現在は漏水前の水準に戻っているが、工場の老朽化による配管の老化や、掃除が仕切れない地下の配管詰まりのトラブルが目立ってきている。都度対応したい。



廃棄物削減

廃棄物と資源の違いと分別の意識づけを行い、分別を徹底する。また丁寧な廃棄が課題。

意識づけの結果、問題があった際には報告が上がってきており、当面の課題は、更なる分別で、回収の際のリサイクル率・買取金額の向上を更に推進していく。雑な捨て方が多いと報告が上がっている（特にビニール袋）徹底し、丁寧な分別を目指したい。



環境配慮型製品

展示会などで製品開発のための調査を行い、情報共有。
アイデアコンクールにて環境に関する提案を全体の20%以上出す。

社員が展示会にいった際の報告書で該当があれば情報共有し、検討。
アイデアコンクールでは、環境配慮のアイデアにはエコ賞として別途受賞枠がある。製品化に繋がるものが出ることを期待したい。

次年度取組にむけて

For next year's efforts

次年度の環境経営目標は変更は以下の通り

産業廃棄物の再利用の目標数値を見直し、新規の機械の導入の際にも超硬などをリサイクルできるように踏まえて検討をしていく。

昨年、顧客要求に対応し、環境目標・環境経営目標における基準年を2018年に統一し、最終目標値も2026年に設定。中長期の活動を設定した。地球温暖化への取り組みであるCo2の排出量に関して引き続き注視していく。

当社の取り組み

Our efforts

本年度に弊社で実施及び継続した具体的な内容をご紹介します。

電力消費の低減、省エネルギー化への取り組み



照明器具の LED 化完了

工場内の主たる箇所の蛍光灯を LED に変更し、全工場処置が完了しました。明るくなる他、省エネにも貢献。残りはスタンドライトや機械内部など細々したところも徐々に変更予定。



日光が入りづらい箇所でも明るく照らしてくれます。

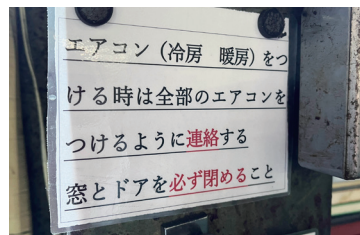


こまめな消灯の呼びかけ

2022年11月頃～電気代の高騰を受けてより強く節電を呼びかけ続けています。各所に札で注意喚起し、委員会や朝礼などでの呼びかけを実施しました。



使わない場所のこまめな消灯。

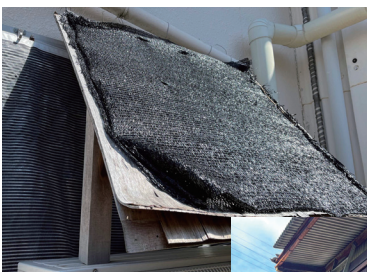


エアコンを使用する時の呼びかけなども実施しています



第1工場に日除け、鉄扉の遮光塗料

第1工場の南側面は夏場は日光が差し込み、温度が高くなりやすく、冷房の効きも悪くなってしまいますので、日除けを設置し、温度上昇を緩和。また今年は発送場所の大きな鉄扉に遮光塗料を塗布し、熱がこもらなくなりました。



直射日光を遮断し、室内へ籠る熱を軽減。



2度塗りを行い、二日間かけて塗布。温度も5度近く下がりました。



毎月のエアコン等のフィルター掃除

毎月15日は全社でエアコンのフィルターの掃除をし、その際に異常などの点検も行っています。常に点検・清掃を行うことで効率的なエアコンの稼働がされています。



環境教育の取り組み

駐車場の草取り 2023年11月20日・2024年6月3日実施

会社駐車場の草取りを朝礼後全員で実施。夏は日が出て暑くなる前に短時間で効率よく行い、社員やお客様が使いやすいキレイな駐車場になるように清掃しました。また排水路の周りも草や苔、異常がないかの確認もしています。



before



after

内部監査で5Sの徹底

内部監査では、半年に1回、違う部署の社員が作業場を訪問し、整理整頓や見える化がされているか等、5Sがきちんと行われているかチェックします。指摘箇所を重点的に対処し、作業効率のよい仕事場を目指します。



左画像が改善前、右画像が改善後。第2工場内、シャッター前の作業台の上が乱雑だったが整理して作業をしやすく安全にしました。

5Sとは

- 整理 不要ものを捨てること
- 整頓 使いやすく並べて表示をすること
- 清掃 きれいに掃除をしながら、あわせて点検すること
- 清潔 きれいな状態を維持すること
- しつけ きれいに使うように習慣づけること

アイデアコンクール

毎年弊社で行っているアイデアコンクールに今年は環境対策に関する応募を呼びかけ、社員から多数の応募がありました。その中でも「ECO賞」とし、環境対策へのグッドアイデアに対して通常の優秀賞とは別で授与します。応募されたアイデアは共有し、実際に運用をしたり、次年度以降の実施計画表の参考にしています。

平成30年度 第35回 新機・工夫・提案・改良用紙			
所属・工場の名称			
所属	氏名	担当	提出
*この欄は、工夫・提案などの内容または写真、図表、図解、写真などの説明欄(図案)			
*この欄は、工夫・提案の理由、効果について			



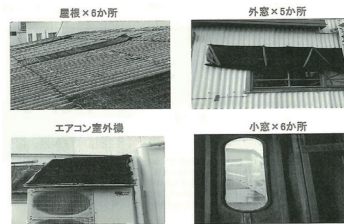
アイデアコンクールは、創業記念日に受賞を発表。誰でも参加でき、特に優秀なアイデアは内容に応じて表彰される。



応募の中からエコなものを選んでます

例えばこんな案が!

日除けの設置で室内温度の低下

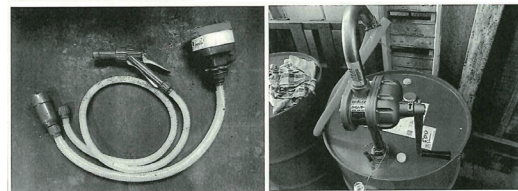


第一工場・発送が猛暑で作業に支障が出たので、日除けシートを窓と屋根にはり、小窓に専用の遮熱フィルムを貼った。

水溶性切削油剤吸上げポンプの変更



※創意・工夫・提案などの内容または方法、形状(略図、写真などの実際の図案) 乾電池式のポンプ(FQ-25)から手廻し式のポンプ(LP-32)に変更した。



乾電池式の従来のものは、電池交換の手間と、冬の油剤の粘度が上がってしまい、空でないのに油剤が吸い上がってこないなどの問題から手廻し式に変更することで時短・乾電池の消費を抑え、エコに還元した。

環境配慮への取り組み



切削液の濃度・状態の定期点検

切削液を変更したことで適切な濃度の点検と状態の確認を定期的に行っています。月に一度の濃度点検と目視による異変があったら対応できるようにしています。

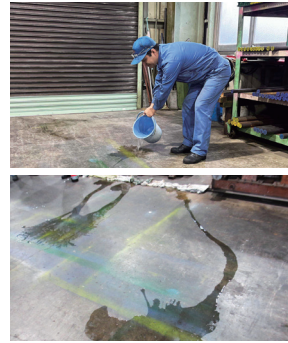
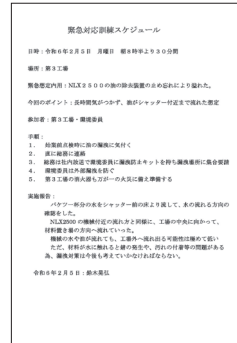


濃度計を用いて適切な濃度になっている確認。また、カビや異臭のチェックも。



緊急対応訓練 2024年2月5日 実施

年に一度、弊社で使用している廃液が漏洩した場合を想定した緊急対応の訓練を行っています。今回は第三工場のNLX2500の油を除去する装置を止め忘れ、放置し油がシャッターまで流れたという想定での手順などを確認しました。※訓練中では水を溢して訓練しています。



ゴミ分別の細分化、リサイクル買取の利用

社内でた廃棄物に関して、社内のルールで細かく分別をすることで分別の認識が行き渡り、リサイクル買取での買取額もアップしました。また、混合廃棄物や産業廃棄物で捨てていたものも、分解・分別で引き取りが可能になることもあり、分別を徹底しています。



■ 来期に向けての実施計画一例

冷暖房の効きの安定化

温度の上昇や下降が激しい箇所の原因を探り対応する。

内部監査のブラッシュアップ

年に2回の内部監査はやることで効果は感じているが、ルーチン化・マンネリ化もしてきており、更なる5Sの徹底の為に内容をブラッシュアップしていきたい。

環境関連法規等遵守状況の確認及び評価結果、違反、訴訟等の有無

Confirmation of compliance with environment-related laws and regulations, evaluation results, violations, proceedings, etc.

環境関連法規等の遵守状況

同事業所に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果は以下の通りです。

環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局よりの違反などの指摘は、過去3年間ありません。

環境に関する外部からの苦情、訴訟等もございませんでした。

評価者：環境管理責任者 岩永 香里

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 法律廃棄物の削減	廃棄物処理業者との委託契約作成	契約書の締結	2024/9/30	○
	産廃保管場所の掲示板設置	60cm×60cm掲示板	2024/9/30	○
	マニフェストの管理	B、D票、E票の返却	2024/9/30	○
	マニフェストの返却期間	90日以内または180日以内	2024/9/30	○
	マニフェストの保管	5年間	2024/9/30	○
	マニフェストの年間交付状況報告 (2020年より電子申請)	3月末の1年実績を6月末までに静岡市へ報告	2024/9/30	○
消防法	第21条の4火災報知機の設置	2021年6月点検 実施	2024/9/30	○
	第21条の4屋内消火栓の設置			○
	第31条の4消防用設備の等点検と報告			○
グリーン購入	環境物品の購入（できる限り）	事業者の一般責務	2024/9/30	○
自動車リサイクル法	取引業者への引き渡し	リサイクル料金の支払い	2024/9/30	○
騒音規制法	第5条 特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を順守	空気圧縮および送風機 2台	2024/9/30	○
	第6条の1 特定施設の届出			
振動規制法	第5条 特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を順守	空気圧縮機 15kw 2台	2024/9/30	○
	第6条の1 特定施設の届出			
フロン類の使用の合理化及び適正化に関する法律	簡易点検：四半期に1回以上、 定期点検：7.5 Kw以上 50 Kw未満は 3年に1回以上、50Kw以上は1年に1回以上	該当のエアコン 12台 スポットクーラー 7台	2024/9/30	○
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別処置法	第2条上 ポリ塩化ビフェニル廃棄物 処理状況報告	低濃度 PCB 廃棄物処理	2024/9/30	○
労働安全衛生法	第2の6号作業環境測定の実施	グラインダー作業場	2024/9/30	○
静岡市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第10条委託業者の処分状況確認	HPにて確認	2024/9/30	○
	第17条処理状況報告	6月末まで提出	2024/9/30	○
静岡市廃棄物の処理及び減量に関する条例	第4条 事業系一般廃棄物処理	静岡市の指定袋購入廃棄	2024/9/30	○

代表者による全体評価と見直し・指示

Overall evaluation and review / instruction by the representative

2023年10月1日から2024年9月30日までの取組について、環境経営方針、環境経営目標および環境経営計画、実施体制を含めた実施状況などについて評価をおこないました。

1. 環境経営方針について

今年の夏の気温は6月から異常で、エアコンが毎日フル稼働する状態であった。
工場自体が古いため、屋根の改修などでの建物からの暑さ対策が必要な事態である。
収益が上がらないと改修費用もなかなか出せないで、手軽にできる方法を工夫していくしかない。

2. 環境経営目標および環境経営計画、実施体制および実施状況について

目標値は自動車関連業界の指標への協力要請があるため、その指標とする。
年間数回の顧客からの環境に関するシートに対しても回答ができており、そのまま継続としていく。
コンプレッサーの問題に関しては、置き場所を変更するなど対応が必要となるが、現時点で置き場所変更が可能な場所がない。騒音との兼ね合いにもなるが、冷却などで対応するしかない。
エアコンの弊害は低温になるという問題もあり、製造現場の快適さと環境対応の両立はなかなか難しいと感じている。

切削液は適切な濃度にする事で製品の安定と環境がうまくマッチしたのではないかと考えている。
環境対応製品に関しては、超硬合金のリサイクル化が進んでおり、海外からのレアメタルが入手困難になるなかで、国内に出回っている超硬を回収、再利用が今後の課題となっている。弊社としてもリサイクル超硬合金を製品に使用したときの各種結果などを分析し、資源の再利用を進められる製品として取り入れていきたい。

3. 環境経営システムの各要素について

社内における要素の変更はなし。
廃棄物の分別については、2025年から静岡市のごみの捨て方に変更が起こるので、それに合わせて教育できればと思っている。
スポットクーラーは計画的に破棄していき、2026年には全廃できるようにしていきたい。

令和7年1月1日

株式会社松岡カッター製作所

代表取締役社長 松岡慶子



切削工具の専門メーカー

株式
会社

松岡カッター製作所

<https://matsuoka-cutter.jp>

